

一般社団法人日本循環器看護学会 平成 29 年度 臨時書面理事会議事録

平成 30 年 7 月 20 日(金)開催

平成 30 年 7 月 31 日(火)決議

添付ファイル

平成 29 年度臨時書面理事会議事次第(平成 30 年 7 月 20 日開催)(本紙)

返信用紙

審議事項

1 看保連:平成 32 年度診療報酬改定に向けた意向調査票への回答について(政策・診療報酬委員会 看保連委員 三浦英恵理事)

看保連より、平成 32 年度診療報酬改定に向けた意向調査がきております。政策・診療報酬委員会を中心に、末期心不全患者への「緩和ケア診療加算」の算定要件として、緩和ケアチームの構成員に慢性心不全看護認定看護師、慢性疾患看護専門看護師等を含めること、心不全緩和ケアに関する研修(ELNEC、心不全緩和ケアセミナー(学会主催)など)を修了している看護師などを含めることを要望していくことを検討しています。また、要望書提出に向けて、日本心不全学会 日本循環器学会 日本心臓リハビリテーション学会、日本慢性看護学会等との連携を希望していきます。

条件として追加する看護師の資格、研修の内容、種類に関しては、これから検討、調査が必要ですが、本学会としては末期心不全患者への「緩和ケア診療加算」の算定要件に条件を追加していく方向性で、次の診療報酬改定で要望書を提出していきたいと思っております。このことを意向調査票に記載し回答することについて、理事会のご承認を頂きたいと思っております。

→承認されました

<理事よりご意見>

・緩和ケアチームの構成員に慢性心不全看護認定看護師、慢性疾患看護専門看護師等を含めること、とございますが、診療看護師も含めて、追記いただくことをご検討お願い申し上げます。

・末期心不全の緩和ケア加算に心不全の緩和ケアの実践経験がある看護師を要件に加えることは賛成ですが、どのような看護師を要件とするのかは、議論したほうがよいと感じます。がんプロが始まった時には厚生労働省の大掛かりな研修に医師も看護師も参加するなどがあったので、1つの1日の研修で要件をクリアするのは難しいと感じます。人数の問題がありますが、認定看護師や専門看護師に絞った方がよいと感じました。

報告事項

1 日本循環器心身医学会のジョイントシンポジウムの座長について(仲村国内交流委員長)

横浜市立大学 医学部看護学科 成人看護学 徳永友里先生を眞茅先生からご推薦いただき、委員会で審議・承認し、徳永先生の内諾を得ました。

2 第 83 回日本循環器学会学術集会におけるジョイントシンポジウムの開催と座長推薦について(仲村国内交流委員長)

委員会でジョイントシンポジウムの開催と座長を仲村が担うことを審議・承認しました。

3 日本心臓血管外科学会の市民公開講座の共催と演者の推薦について(仲村国内交流委員長)

兵庫医科大学病院 急性・重症患者看護専門看護師 山岡綾子先生を、宇都宮理事よりご推薦いただき、委員会で共催と演者の推薦を審議・承認し、山岡先生の内諾を得ました。

以上